

令和6年度

名古屋大学大学院情報学研究科  
社会情報学専攻  
入学試験問題（専門）

令和5年8月2日

注意事項

1. 試験開始の合図があるまでは、この問題冊子を開いてはならない。
2. 試験終了まで退出できない。
3. 日本語または英語で解答すること。
4. 問題冊子、解答用紙2枚、草稿用紙1枚が配布されていることを確認すること。
5. 問題は「現代社会における哲学的諸問題」、「哲学基礎」、「社会情報学の諸問題」、「環境考古学」、「文化財科学」、「情報社会システム」、「メディア・コミュニケーション研究」、「国際関係論」の8科目がある。このうち2科目を選択して解答すること。なお、選択した科目名を解答用紙の指定欄に記入すること。
6. 全ての解答用紙の所定の欄に受験番号を必ず記入すること。解答用紙に受験者の氏名を記入してはならない。
7. 解答用紙に書ききれない場合は、裏面を使用してもよい。ただし、裏面を使用した場合は、その旨、解答用紙表面右下に明記すること。
8. 解答用紙は試験終了後に2枚とも提出すること。
9. 問題冊子、草稿用紙は試験終了後に持ち帰ること。

## 現代社会における哲学的諸問題

以下の(1)と(2)から1問選んで解答しなさい。両方に答えた場合は採点対象としない。

(1) 機械に道徳性を持たせることについて、そのメリットや重要性、考えられるアプローチ、困難、問題点に言及しつつ、自分の見解を述べなさい。

(2) 現代の科学技術の発展によって知識の獲得は容易になった側面と困難になった側面がある。知識の必要条件をどのようなものとするのかについて複数の立場を明確にしたうえで、それらの立場から、この知識の獲得の困難さと容易さをどのように説明できるのかを論じなさい。

## 哲学基礎

次の(1)～(12)の項目のなかから 4 つを選んで説明しなさい。5 つ以上解答した場合は、採点対象としない。

- (1) 道徳的被行為者 moral patients
- (2) 自己情報コントロール権 right to control self-information
- (3) 拡張した心 extended mind
- (4) 真理の整合説 coherence theory of truth
- (5) ゲティア問題 Gettier problem
- (6) 認識的不正義 epistemic injustice
- (7) 最良の説明への推論 inference to the best explanation
- (8) 閉包原理 closure principle
- (9) 印象主義モデル impressionist model
- (10) 対象モデル object model
- (11) 風景モデル landscape model
- (12) 環境モデル environmental model

## 社会情報学の諸問題

次の問 1 から問 3 のうち、1 つを選び解答しなさい。2 つ以上解答した場合は、採点対象としない。

### 問 1

E.ノエレ=ノイマン (E. Noelle-Neumann) が提示した「沈黙の螺旋(Spiral of Silence)理論」について、以下の 2 つの問いに答えなさい。

- (1) この理論について、概要を説明しなさい。
- (2) (1)で示した要素を踏まえ、この理論に当てはまるメディアを介した事例を 1 つ挙げ、どのように当てはまるかについて、あなたの意見を述べなさい。

### 問 2

マルセル・デュシャン (Marcel Duchamp) の《泉 (fountain)》(1917) について、以下の 2 つの問いに答えなさい。

- (1) この作品が現代美術の原点と言われているのはなぜか。先行研究を示しながら、説明しなさい。
- (2) この作品は、現代の情報社会や未来社会を想定してさえ、重要であり続けると考えられるか。あなたの意見を述べなさい。

(裏面に続きます)

### 問3

以下の2つの問いのうち1つを選択し答えなさい。2つ以上解答した場合は、採点対象としない。

(1) 日本におけるマイナンバー制度は、国内に住民票を持つすべての人に番号を付与し、税金や社会保障などの手続きにおいて、個人情報をもより簡単・便利に管理することを目的としたものである。一方で、現時点でのマイナンバーカードの普及段階においてはコンビニエンスストアでの住民票誤交付や、マイナ保険証の紐づけミス、同姓同名の別人へのカード交付など、様々なトラブルが生じている。これからのデジタル社会の実現に向けて、大規模なデジタル化施策を実施することのメリット・デメリットの両方について触れ、これらの施策がより良い方向に向かうには何をどのように推進すべきかについて、具体的に説明しなさい。

(2) 新型コロナウイルス感染症の感染症法\*上の位置づけが、令和5年5月8日にこれまでの2類相当から5類に移行した。これに伴い今後様々な社会的活動が活発化されることが期待されている。一方で、新型コロナウイルス感染症の影響により、自治体が公開するオープンデータを活用した新型コロナウイルス感染症対策サイトの開発・公開やビデオ会議ツールを活用した遠隔会議の実施など、情報通信技術が社会に果たした役割は大きい。ポストコロナ時代において、新型コロナウイルス感染症から我々は何を学び、今後どのように情報通信技術の活用やデータの利活用を進めてゆくべきかについて、論理立てて説明しなさい。

\*感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律。2類は新型インフルエンザ感染症などを指し、5類は感染力や重篤性などに基づく総合的な観点からみた危険性が最も低いとされる感染症などを指す。

## 環境考古学

遺跡から出土する動物骨は、考古学にとって重要な研究材料の 1 つである。

以下の (1) (2) すべてについて解答しなさい。

(1) 日本列島の遺跡を見ると、大まかな傾向として動物骨の「出土量が多い時代」と、「出土量が少ない時代」がある。出土量が多い時代と少ない時代を、それぞれ 1 つずつあげなさい。

(2) 骨の出土量が少ない時代において人々が動物をどう取り扱っていたかを考えるためには、動物骨以外の資料で情報を補う必要がある。では、動物骨以外のどんな資料からどのようなことがわかるか、例をあげて具体的に述べなさい。

## 文化財科学

弥生時代の遺跡で出土する家畜（家禽）の 1 つにニワトリがある。弥生時代のニワトリについて、骨の特徴やその出土状況・飼育目的などの中から、これまでにわかっていることを 3 つあげて、具体的に説明しなさい。

## 情報社会システム

以下の問題を2問とも解答しなさい。

(1) 以下の、情報通信技術 (ICT : Information and Communication Technology)に関連する用語すべてについて簡潔に説明しなさい。

1. 大規模言語モデル (LLM : Large Language Models)
2. デジタルツイン (Digital Twin)
3. マイナポータル
4. PHR (Personal Health Record)
5. プライバシーテック (Privacy Tech)

(2) 2022年12月に「デジタル田園都市国家構想総合戦略」が閣議決定され、その重要施策分野の一つとして「観光DX」が推進されている。現時点での観光産業の現状や課題について考察するとともに、今後、観光DXをどのように推進していくべきかについて、具体的方法を挙げつつ説明しなさい。



## メディア・コミュニケーション研究

以下の大問1から大問3のうち、1つを選んで解答しなさい。大問2つ以上を解答した場合は、採点しない。

問1. W.J. オング (Walter J. Ong) の『声の文化と文字の文化 (Orality and Literacy)』に関連して、下記の小問2つすべてに解答しなさい。

- ① 「声の文化」と「文字の文化」について、それぞれ特徴を説明しなさい。
- ② テキスティング (texting) と言われる、メッセージング・アプリ上でみられる短文コミュニケーションの文化は、どちらに近い特徴を持っているか。根拠を挙げながら説明しなさい。

問2. インターネットの普及にともない、「思想の自由市場 (marketplace of ideas)」論という考えが再度脚光を浴びている。これに関連して、以下の小問2つすべてに解答しなさい。

- ① 「思想の自由市場」論について肯定、否定する両方の立場について説明しなさい。
- ② どちらかの立場から現代のメディア社会における問題点について、あなたの考えを論じなさい。

問3. ポピュリズム政治の台頭に関連して、以下の小問3つすべてに解答しなさい。

- ① ポピュリズム政治に関する一般的な理解、定義を記しなさい。
- ② ポピュリズム政治と現代メディア社会の関連性について説明しなさい。
- ③ メディアによるポピュリズム政治の取り上げ方に関する功罪を論じなさい。

## 国際関係論

以下の大問1から大問3のうち、1つを選んで解答しなさい。大問2つ以上を解答した場合は、採点しない。

問1. 戦争の当事国政府はしばしば多様な情報規制を行う。これに関連して、下記の小問2つすべてに解答しなさい。

- ① これまでの歴史、あるいは現状において、いかなる報道規制が、なぜ設けられてきたのかについて、具体的事例を挙げつつ、答えなさい。
- ② こうした戦時下の情報規制に対してはさまざまな批判もある。そうした批判がなされた理由を、具体的事例を挙げつつ、答えなさい。

問2. 下記の小問2つすべてに解答しなさい。

- ① 人々がナショナル・アイデンティティを共有するに至る1つの要素として、メディア・コミュニケーション技術の発展が挙げられることがある。なぜ、メディア・コミュニケーション技術がナショナル・アイデンティティの共有をもたらすのかについて、概説しなさい。
- ② アーネスト・ゲルナー (Ernest Gellner) は、ナショナリズムを「1つの政治的な単位と1つの民族的な単位とが一致しなければならないと主張する政治的原理」と定義した。こうした考え方が人々の間に広がると、特定の集団間に極めて強い軋轢を生むことがある。こうした軋轢がいかに生じるかについて、事例を挙げつつ答えなさい。

問3. 政策評価は専門性、適切なデータ収集、分析を踏まえてなされる。しかしながら、さまざまな各方面からの圧力・要求・制約にさらされながら、曖昧な基準のまま評価活動が展開されることもある。これを踏まえて、以下の小問2つすべてに解答しなさい。

- ① このような時、政策評価において曖昧になりやすい点を複数挙げ、それらの説明をしなさい。
- ② こうした政策評価の過程において、(マス・)メディアはどのような機能を果たすべきか。あなたの考えを自由に論じなさい。